

さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

株式会社さくらさくプラス 事業計画及び成長可能性に関する事項

証券コード：7097

2023年10月31日



さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI



さくらさくプラス



会社概要

SAKURASAKU PLUS

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI



会社名 株式会社さくらさくプラス

設立 2017年8月

上場 2020年10月（東証グロース）

マネジメント 代表取締役社長 西尾 義隆（写真中）
取締役副社長 中山 隆志（写真右）
取締役専務 森田 周平（写真左）

所在地 東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル

資本金 580,406,430円（2023年7月末）

従業員数 2,119人（2023年7月末）

事業内容 子ども・子育て支援事業

株式会社さくらさくみらい（100%子会社）

株式会社さくらさくパワーズ（100%子会社）
宅地建物取引業者 東京都知事（1）第103379号

株式会社あかるいみらいアセット（持分法適用関連会社）

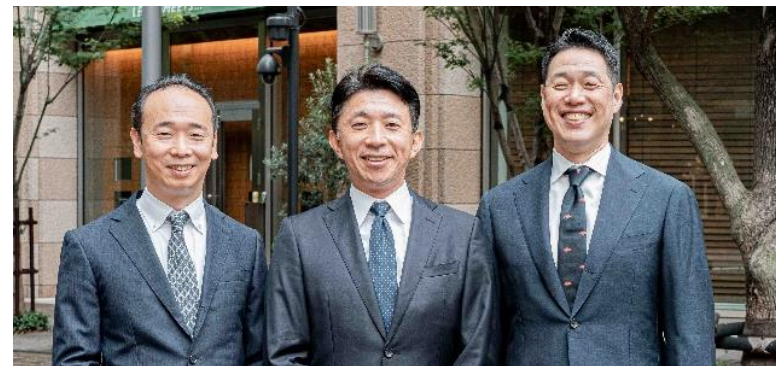
関連子会社 Hana TED.,JSC（ベトナム：持分法適用関連会社）

株式会社みらいパレット(80%子会社)

株式会社V A M O S(100%子会社)

株式会社みんなのみらい（95%子会社）

株式会社保育のデザイン研究所（100%子会社）



- 2009年5月、事業譲渡により「りよくちさくさくほいくえん」（認可外保育施設）を個人事業として開設・創業
- 2017年の株式移転により、株式会社プロッサムの完全親会社として「さくさくプラス」を設立

2009年 株式会社プロッサム（現「株式会社さくさくみらい」）設立

2010年 **現小規模保育施設** 「わこうさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい和光」）開設

2011年 **初の認証保育所** 「つきしまさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい月島」）開設

2014年 **初の認可保育所** 「もとまちさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい元町」）
初の認可保育所 「ぜんげんじさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい善源寺」）同時開設

2017年 株式移転により株式会社さくさくプラスを設立
 株式会社プロッサム（現「株式会社さくさくみらい」）を完全子会社化



2018年 株式会社さくさくパワーズ設立 宅地建物取引業者 東京都知事免許(1)103379号



2019年 社名を株式会社プロッサムから株式会社さくさくみらいに変更
 株式会社あかるいみらいアセット設立
 Hana TED.,JSC設立（ベトナム）



2020年 東証マザーズ（現 東証グロース）上場

2021年 株式会社みらいパレット を設立
 株式会社 V A M O S を子会社化
 株式会社みんなのみらいを設立



2023年 株式会社保育のデザイン研究所を子会社化





さくらさくプラス



SAKURASAKU PLUS

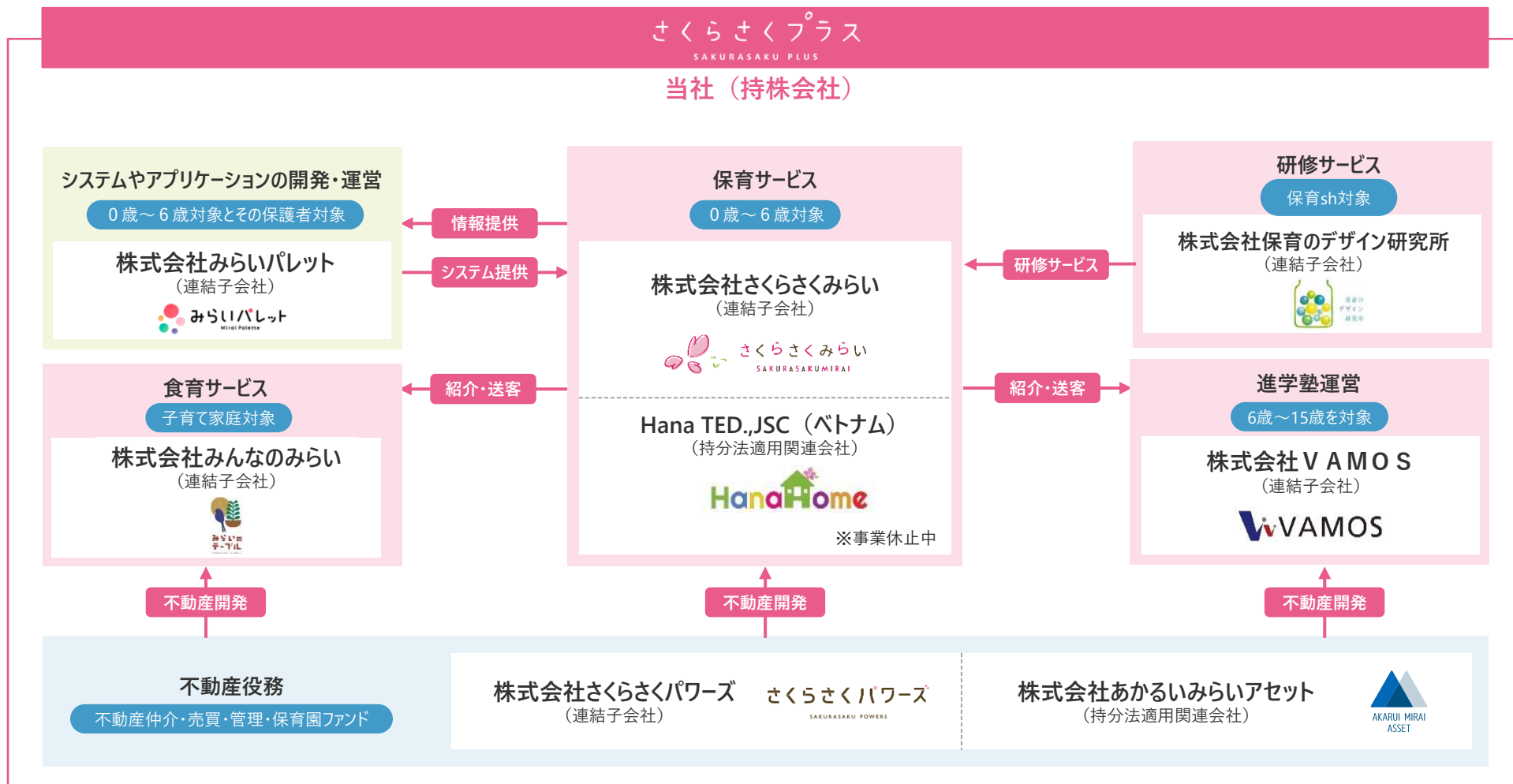
事業の内容

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI



- 不動産開発力を活かした保育所運営を中核とし、進学塾運営、システムやアプリケーションの開発・運営、食育サービス、保育研修サービスなど、子ども・子育て支援事業へと展開





さくらさくみらい
SAKURASAKUMIRAI

運営施設数

保育所 **88** 施設
(2023/7月末)

保育所利用者数

4,672人
(2023/7月末)

紹介・送客

サービス提供

情報提供

システム提供

情報提供

研修実施

紹介・送客

サービス提供

紹介・送客

教育コンテンツ
提供

食育サービス

子育て家庭対象

株式会社みんなのみらい
(連結子会社)

パン・
エスプレッソ・
BREAD.
ESPRESSO × さくらさくプラス



システムやアプリケーションの 開発・運営

0歳～6歳対象とその保護者対象

株式会社みらいパレット
(連結子会社)

みらいパレット
Mirai Palette



保育研修サービス

保育士・幼児教育従事者対象

株式会社保育のデザイン研究所
(2023年4月連結子会社化)



子育て支援住宅

子育て家庭対象

株式会社さくらさくパワーズ
(連結子会社)

さくらさくパワーズ
SAKURASAKU POWERS

子育て支援住宅イメージ



進学塾運営

6歳～15歳を対象

株式会社VAMOS
(連結子会社)

VAMOS



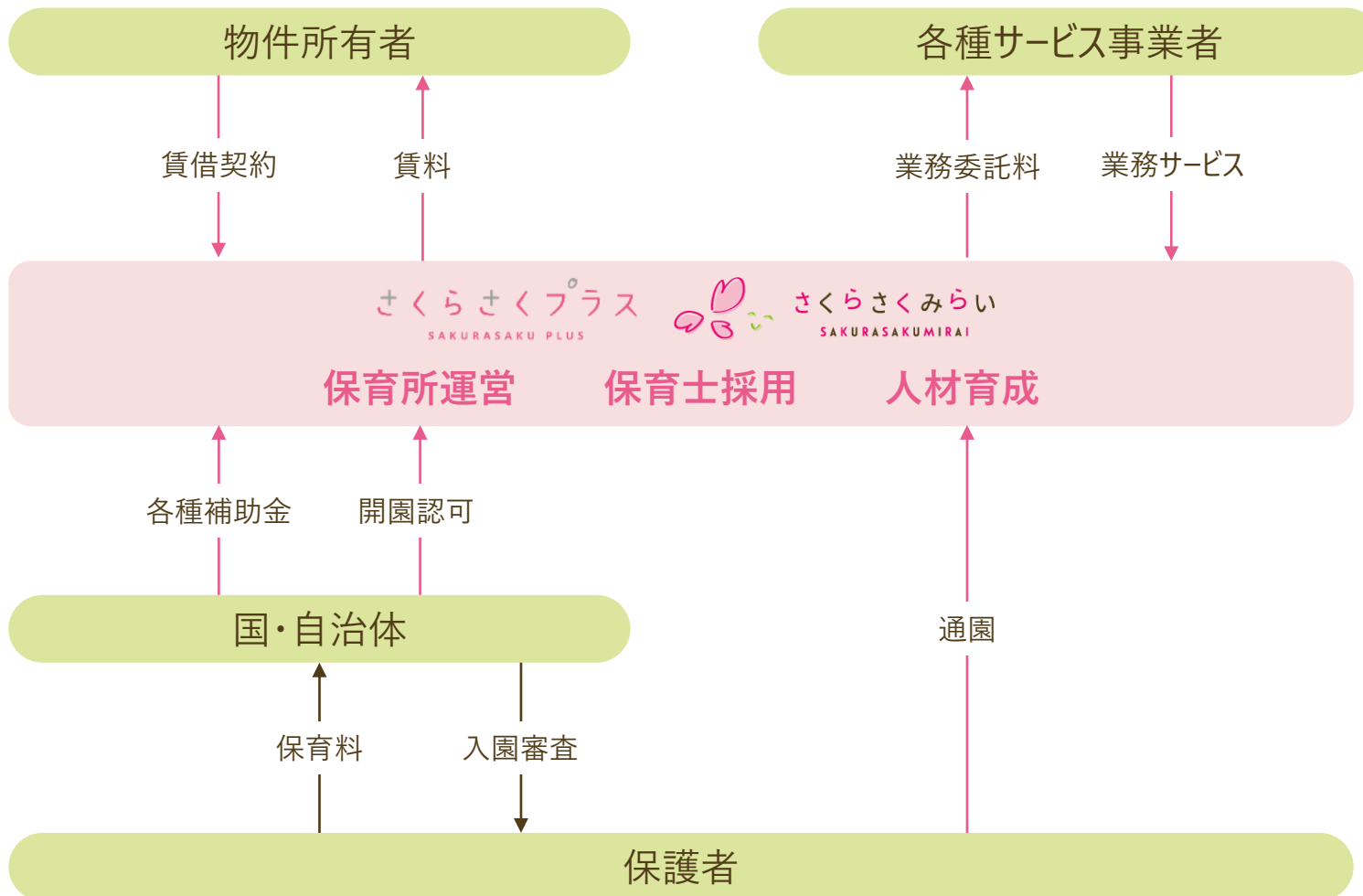
さくらさくプラス
SAKURASAKU PLUS

当社（持株会社）



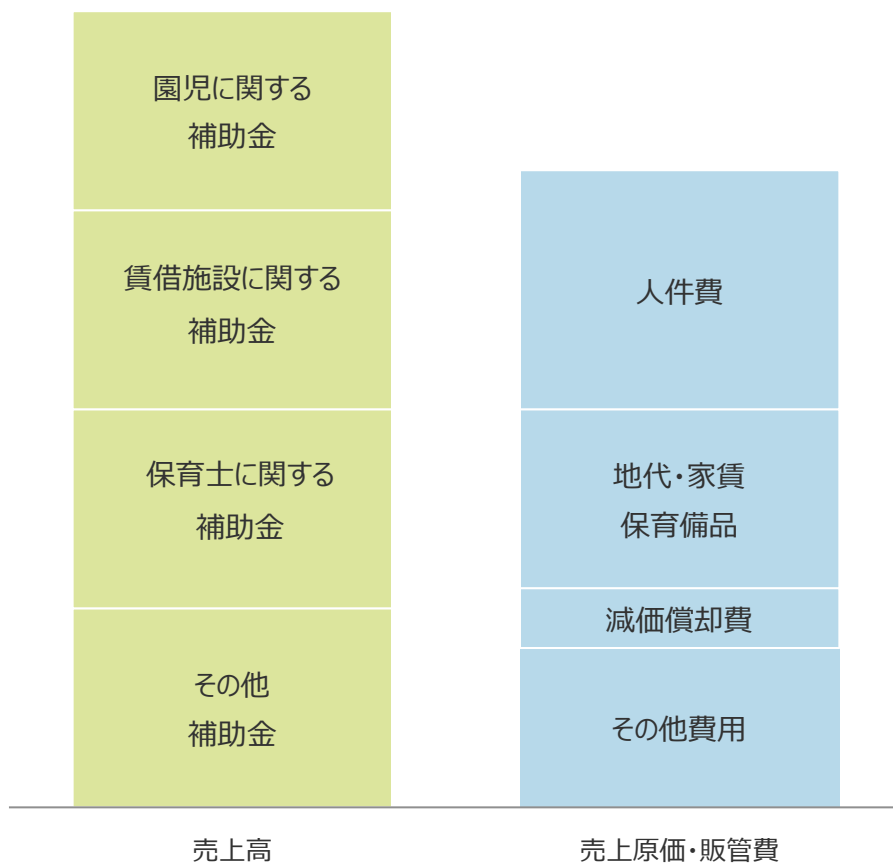
※事業停止中

- 当社の運営する88施設のうち87施設は認可保育所
- 認可保育所は、国・自治体が補助金より保育所利用料を負担するため、安定した経営を行えるのが特長

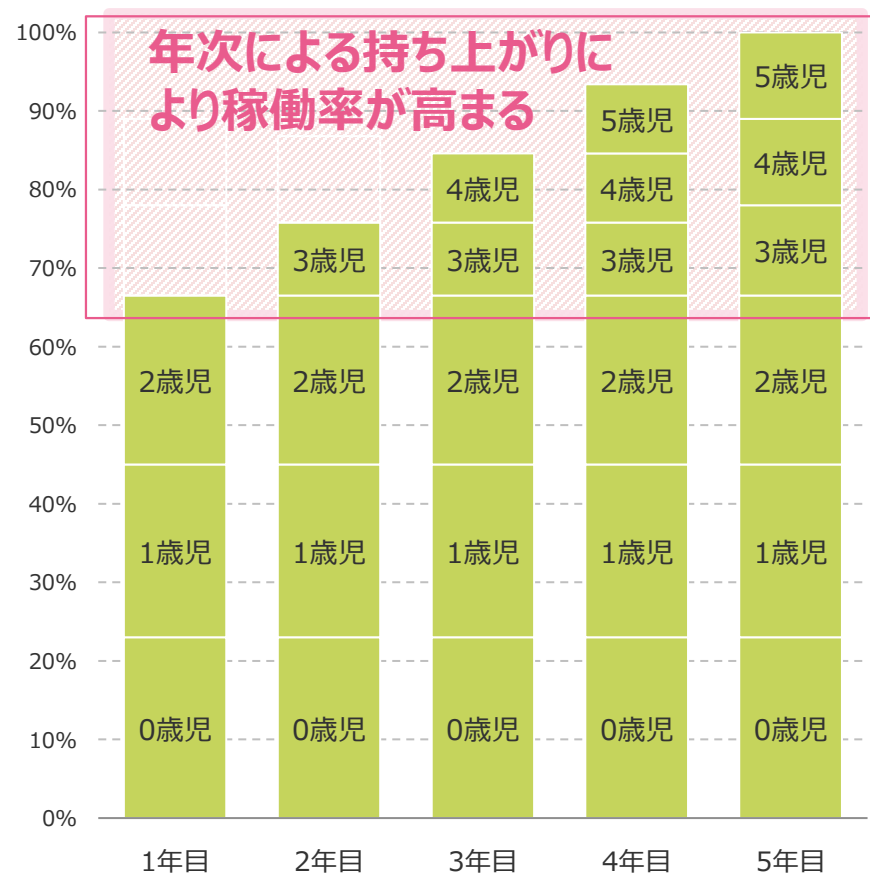


- 待機児童の多くは0～2歳児、開所直後は3～5歳児クラスが少なく、数年を経て持ち上がってくることで収益が最大化
- 売上高として計上される委託費・運営補助金以外に保育所開設に伴う内装費・備品などの補助金があり、営業外収益へ計上

売上高と売上原価・販管費イメージ



保育所1カ所当たり収益イメージ



保育所の開設に係る費用と補助金収入のイメージについて

委託費・運営補助金

園児、保育士に関する補助金、貸借施設に関する補助金や加算金などがあり、売上高に計上される

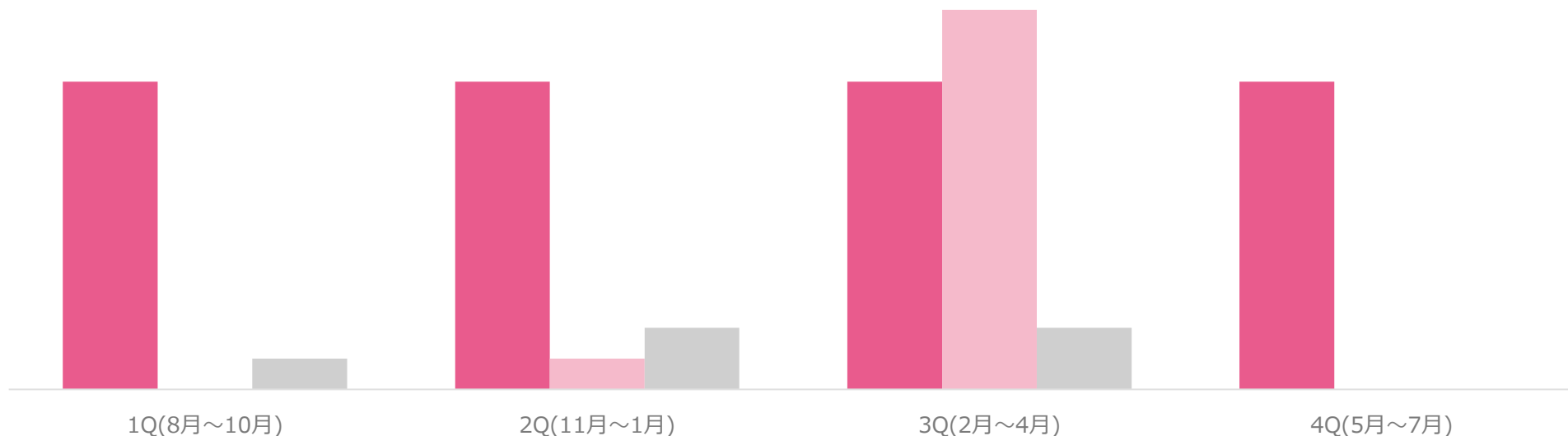
施設開設に係る補助金

一般的に「補助金収入」が「開業準備費」を上回ることが多く、保育所の新規開設数が増加すると施設開設に係る補助金収入が営業外収益に計上され、営業外収支が改善する傾向

開業準備費

当社グループは当該補助金を営業外収益の「補助金収入」に計上
また、新規開設のための支出のうち、費用処理したものは営業外費用の「開業準備費」に計上

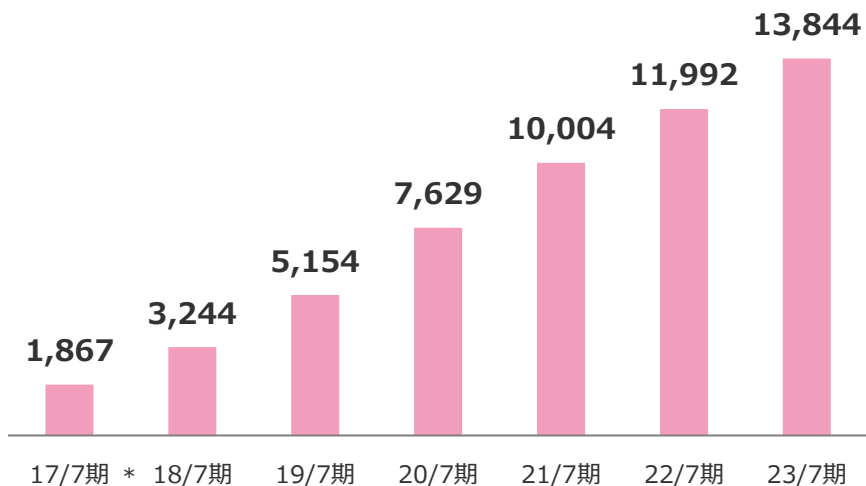
■ 委託費・運営補助金 ■ 施設開設に係る補助金(営業外収益) ■ 開業準備費(営業外費用)



*上記はあくまでイメージであり、行政の方針や年度によって変更になります

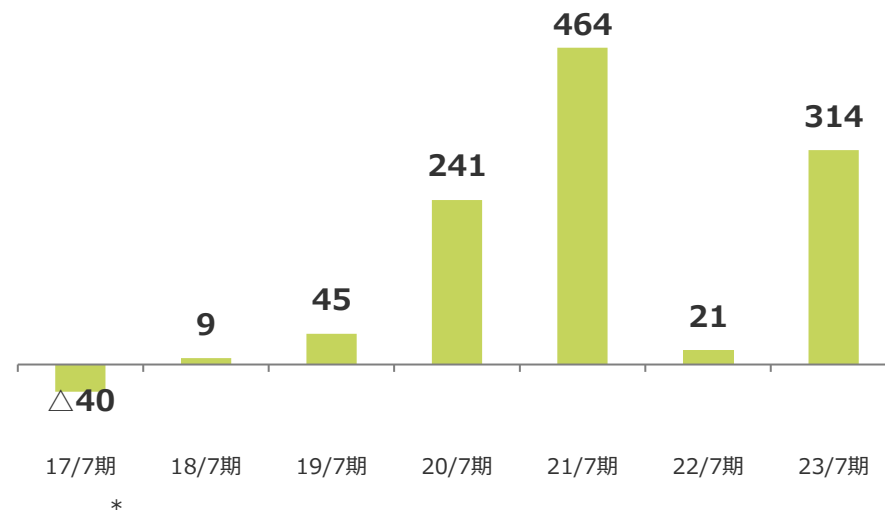
売上高

(単位：百万円)



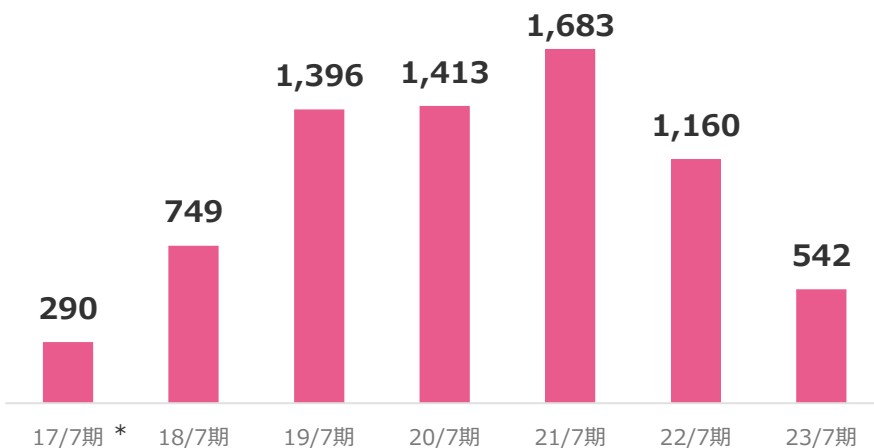
営業利益

(単位：百万円)



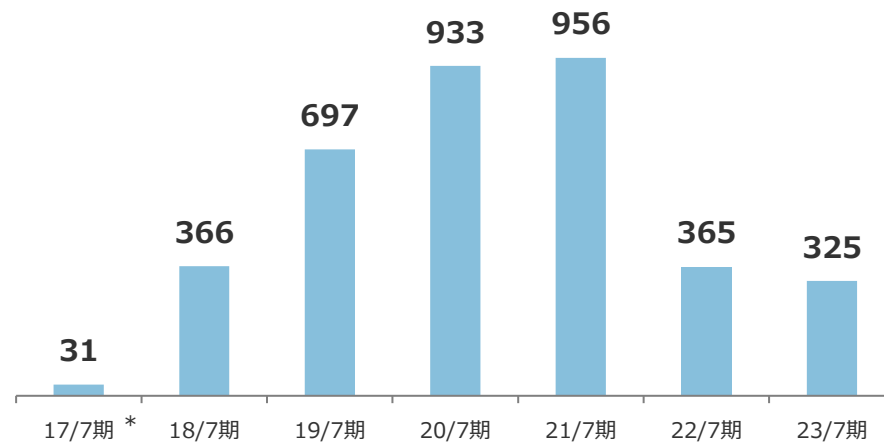
経常利益

(単位：百万円)



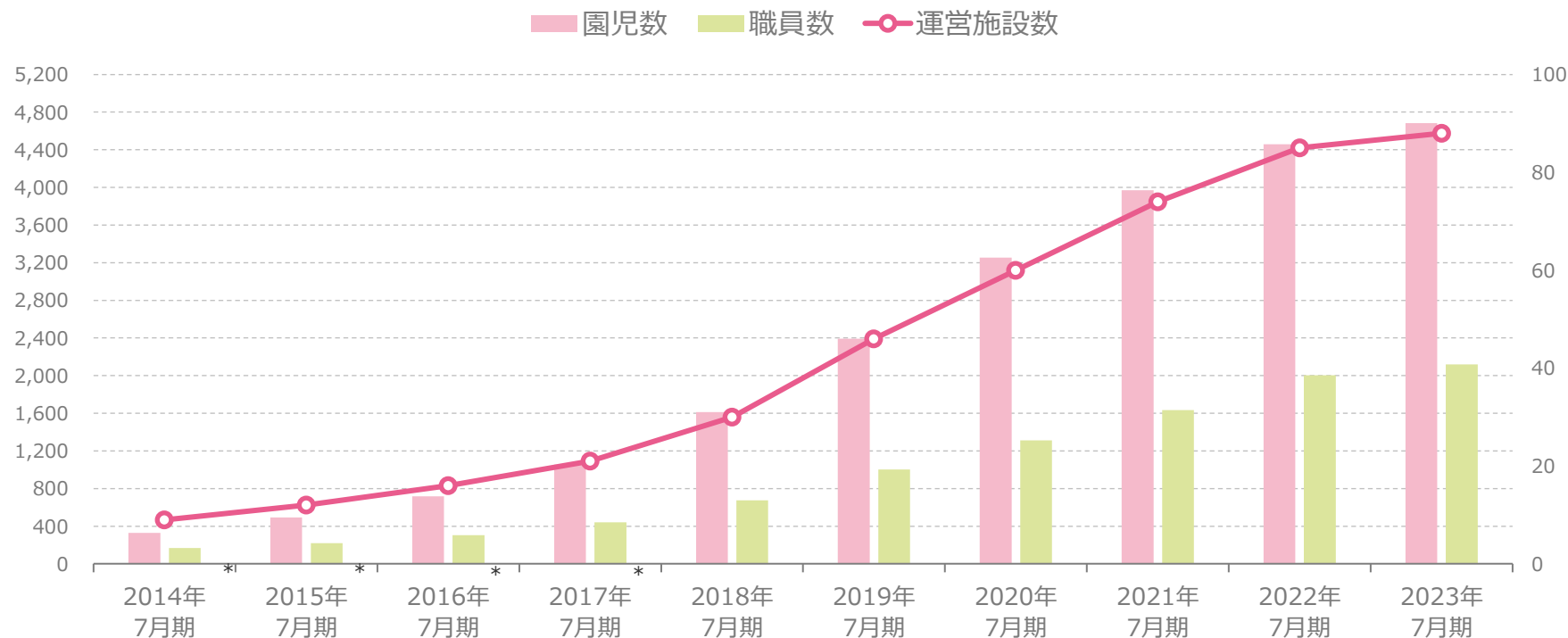
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



*当社は2017年8月1日に単独株式移転により㈱プロッサム（現 ㈱さくらさくみらい）の完全親会社として設立しており、17/7期は株式移転完全子会社である㈱プロッサム（現 ㈱さくらさくみらい）の業績を記載しております。

— 保育所の拡大フェーズである直近の5年間で42施設を新規開設



運営施設数	9	12	16	21	30	46	60	74	85	88
園児数	328	494	718	1,055	1,612	2,391	3,255	3,971	4,458	4,682
職員数	169	220	303	441	674	1,002	1,313	1,635	2,004	2,119

*当社は2017年8月1日に単独株式移転により(株)プロッサム（現 (株)さくらさくみらい）の完全親会社として設立しており、17/7期までは株式移転完全子会社である(株)プロッサム（現 (株)さくらさくみらい）の業績を記載しております。

*職員数は派遣社員を含む期末在籍者数



さくらさくプラス



SAKURASAKU PLUS

市場環境

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI



- 少子化対策のための「こども未来戦略方針」で次元の異なる少子化対策と明言
- 保育所の空き定員を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業等、国策としての少子化対策が急ピッチで進捗

『異次元の少子化対策』の概要

～少子化対策を含む子どもに関連する予算を倍増する意向～

3本柱

1. 若い世代の所得を増やすこと
2. 社会全体の構造や意識の変化
3. シームレスな支援

主な施策

児童手当の対象を
「0歳～高校生」に拡充検討

「こども誰でも通園制度

保育士の配置基準の改善

出産費用の保険適用

「こども未来戦略方針」

「加速化プラン」～今後、3年間の集中的な取組～

1. ライフステージを通じた子育てに係る経済的支援の強化や若い世代の所得向上に向けた取組
2. 全てのこども・子育て世帯を対象とする支援の拡充
3. 共働き・共育ての推進
4. こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革

2000年以降の子育て支援に係る主な施策

年度	施策
2001年	認可保育所を民間に開放
2005年	子ども・子育て応援プラン（～2009年）
2008年	新待機児童ゼロ作戦（～2010年）
2010年	子ども・子育てビジョン（～2014年）
2013年	待機児童解消加速化プラン（～2017年）
2017年	子育て安心プラン
2019年	幼児教育の無償化
2020年	新子育て安心プラン
2023年	「こども家庭庁」2023年4月1日設置予定

足元の市場環境

2022年の出生数77万人 過去最少

（厚生労働省 人口動態統計（速報値））

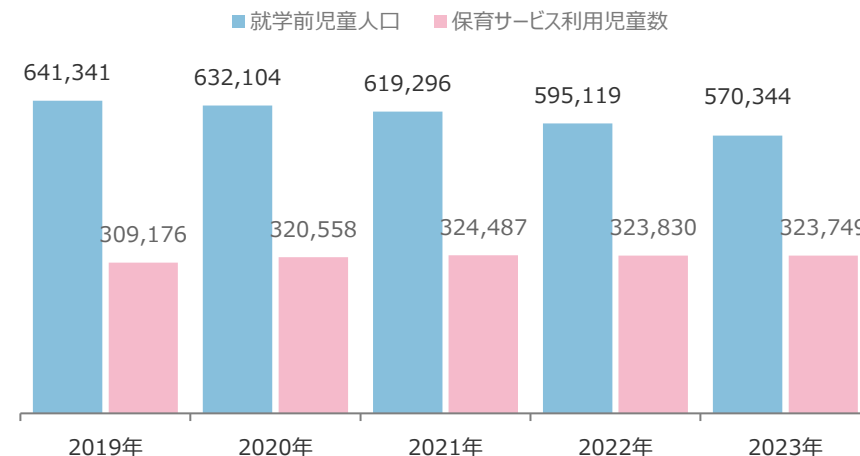
- 主な要因
- 少子高齢化の加速
 - ライフスタイルの変容

就学前児童人口が減少する一方で 保育サービス利用児童数は増加

（東京都 保育サービス利用児童数の状況（令和5年7月26日））

- 主な要因
- 就学前人口の減少
 - 受け皿となる保育所施設の整備が進展
 - 新型コロナウイルスの影響による「利用控え」

待機児童数の推移



保育及びその周辺サービス売上高ランキング

	企業名	売上高 (百万円)
1	A社 (プライム) ※2023年3月期決算説明資料	35,507
2	G社 (プライム) ※2023年3月期決算説明資料	29,047
3	H社 (スタンダード) ※2023年3月期決算説明資料	26,258
4	B社 (スタンダード) ※2022年9月期決算説明資料	24,352
5	さくらさくプラス (グロース) SAKURASAKU PLUS ※2023年7月期決算説明資料	13,844
6	D社 (スタンダード) ※2022年12月期決算説明資料	12,128
7	F社 (グロース) ※2023年3月期決算説明資料	11,860
8	E社 (グロース) ※2023年3月期決算短信	10,822
9	C社 (グロース) ※2023年5月期決算説明資料	9,792



さくらさくプラス



SAKURASAKU PLUS

当社の戦略

～東京・認可にフォーカス～

さくらさくみらい

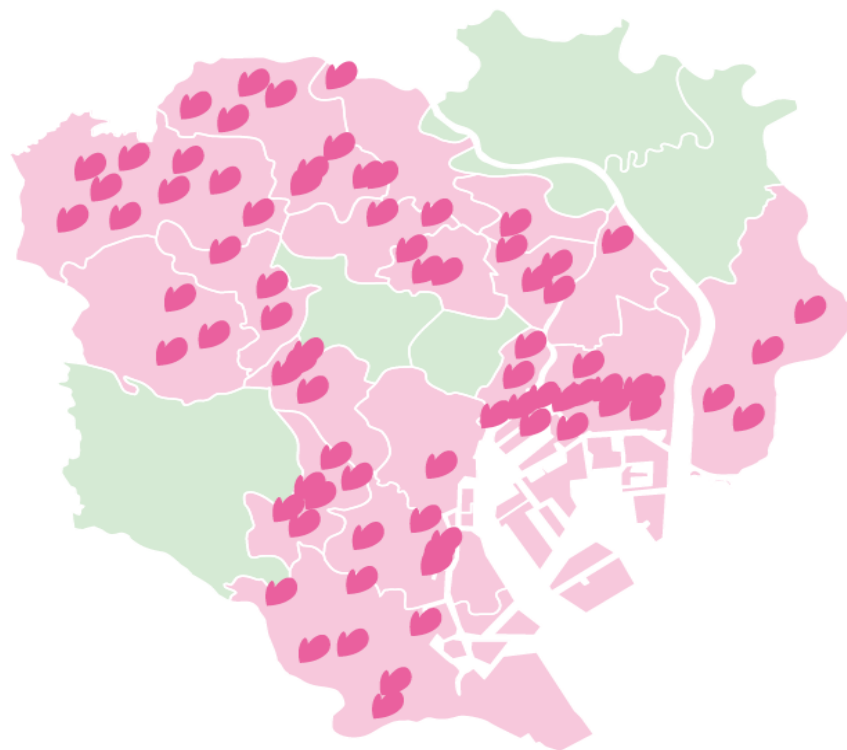
SAKURASAKUMIRAI



- 同一区内に複数開所の実績 行政からの信頼も厚い
- 当期末の東京都・認可保育所の比率は92.0% (81/88施設)

当社保育所の東京都認可保育所所在地

練馬区	9
板橋区	9
中央区	10
江東区	7
大田区	7
目黒区	6
品川区	6
渋谷区	4
江戸川区	4
台東区	4
中野区	3
文京区	3
杉並区	3
豊島区	2
北区	1
墨田区	1
荒川区	1
港区	1



東京・認可比率 **92.0%**

認可比率 **98.9%**

東京認可保育所

81

全 **88** 施設

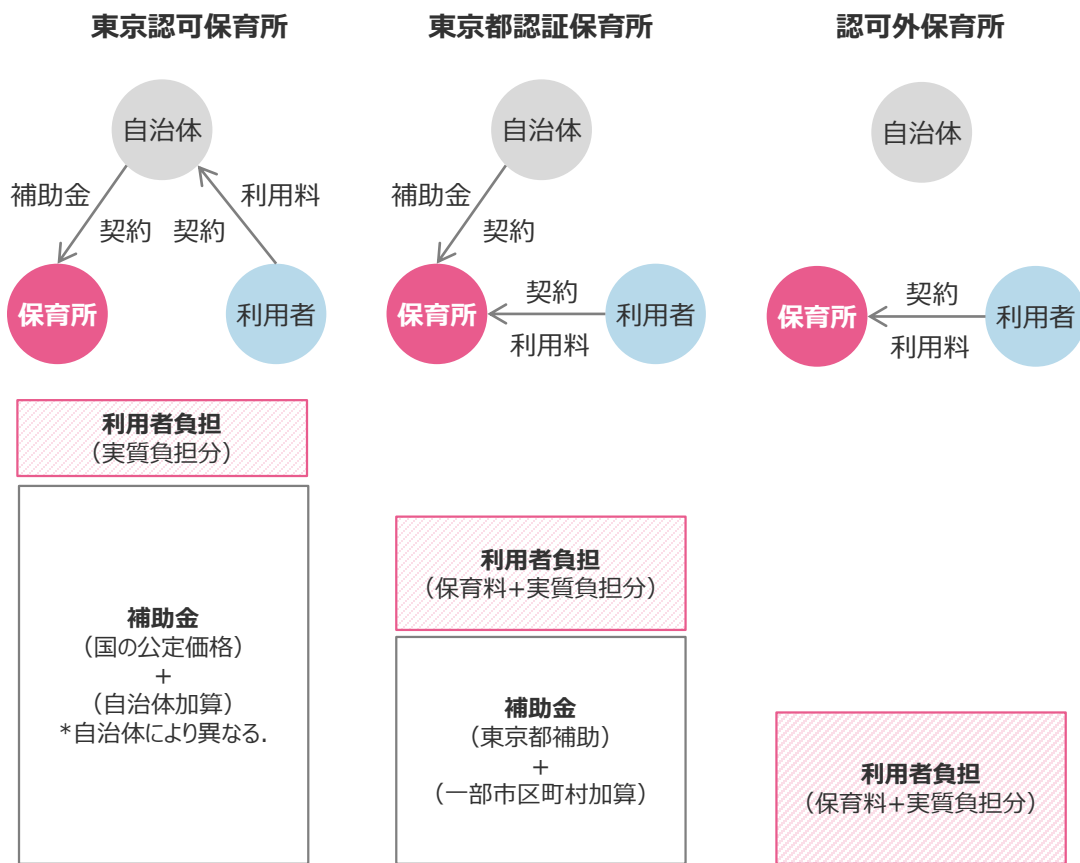
東京都認可81園
東京都認証 1園
大阪府認可 3園
埼玉県認可 2園
千葉県認可 1園

※2023年4月期開園済み

基準が高く、保育環境が充実 認可保育所は入所希望者が多い

- 認可保育所は安心・安全な保育環境が充実しており、入所希望者が多い
- 施設の要件、職員配置などの基準が高いことを反映し、認可保育所に支払われる補助金額は、他タイプの保育所より高く設定されている

契約形態別 利用者費用負担



公的施設 = 国や自治体からの補助金あり

	認可保育所	東京都認証保育所 A型
施設基準	乳児室、保育室、遊戯室、調理室、医務室等 屋外遊技場(園庭) 3.3㎡以上(付近の公園可) 0・1歳 1.65㎡以上 (乳児室) 3.3㎡以上 (ほふく室)	0・1歳 1.65㎡ (2.5㎡まで弾力化)
	2歳以上 1.98㎡以上	
職員	有資格保育士 常勤保育士は、 各クラス1名以上 (乳児を含む場合は2名以上)	有資格者は、6割以上
	0歳 3 : 1	
	1・2歳 6 : 1	
	3歳 20 : 1	
	4歳以上 30 : 1	
公的助成金	1.施設整備費 2.運営費 3.特別保育事業費	1. 開設準備費 (駅前に設置するA型のみ) 2. 運営費



さくらさくプラス



SAKURASAKU PLUS

競争優位性

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI



- 認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワークの「子ども虐待のない社会実現」を目指す活動の趣旨に賛同し、オレンジリボン憲章の精神に則り、子ども、保護者、職員、地域の皆さまが笑顔になれる子ども・子育て支援環境づくりを目指す

当社の安全への取り組み

運営委員会開催

- 外部アドバイザー・保護者代表・地域担当などが参加
- 要望・意見の収集と改善策の提案
- 園での事故事例について情報共有
- ご意見箱の設置
- ブログによる情報共有

保育マニュアル

- 日常業務を細かくマニュアル化した保育マニュアル
(登園時の対応、食事・午睡・お散歩他、安心・安全な保育に寄与)
- 冒頭に虐待の防止に関する指針や苦情対応フローなども掲載し、子どもを守る保育を実践



職員研修

- 階層により年11時間～56時間実施
実施後はレポートを作成し
研修内容の整理と習熟度の把握
- 園長・役職者向けプログラムとして
職員の園児に対する不適切対応、
リスクマネジメントなどの研修も実施



その他

- 毎日昼礼を行い、園内の情報・本部からの連絡を共有
- 毎月の職員会議にて、本部からの安全管理・虐待等の情報を共有・注意喚起
- 毎月、本部による巡回訪問の実施
- 事故事例が発覚した際は、本部に共有し、調査を実施
- 子ども虐待防止 オレンジリボン運動へ参加



新たな乳幼児教育プログラム「CLiP」

各分野の専門家の協力を得て、認知能力の発達に繋がる乳幼児教育への取り組みプログラム。子どもたちの「なりたい未来」を実現できる力を育む保育を実践

取り組み実績*

「ことば・もじ」分野

625件

遊びの実践
報告数

「かず・かたち」分野

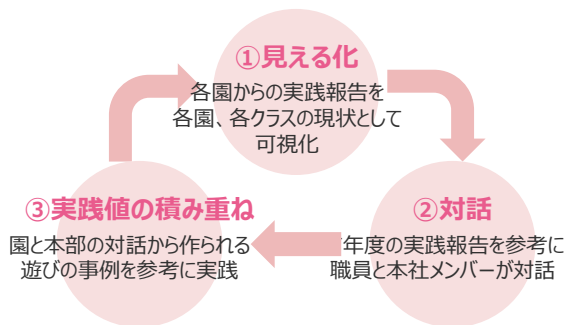
804件

- 乳児クラスからも多くの提出があり
- 全園でクラス数の多い3歳児クラスが最多
- フリーや合同クラスの報告もあり

- 乳児クラスからも多くの提出があり
- 全園でクラス数の多い3歳児クラスが最多
- フリーや合同クラスの報告もあり
- 「ことば・もじ」より180件ほど多い

※ CLiP～2022年度振り返り～レポートより

CLiPのサイクル



職員のCLiP受講風景

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI

東京大学大学院との保育・教育の実践に関する協力研究



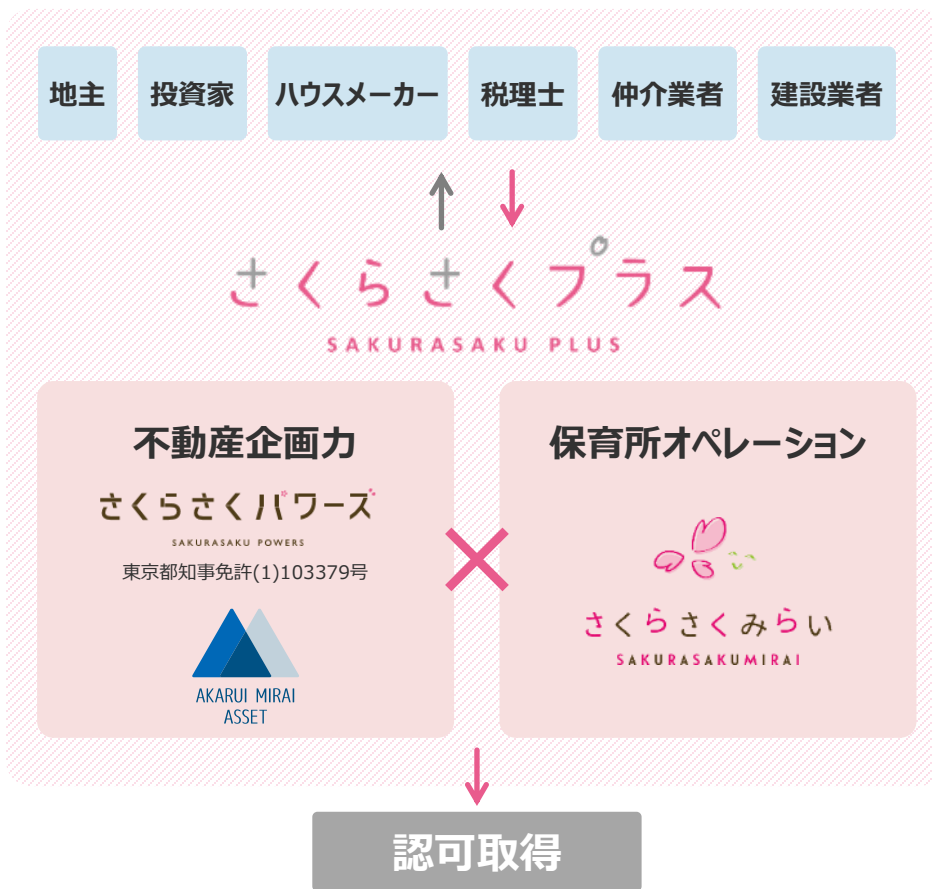
*左から、Cedep天野美和子特任助教、野澤祥子准教授、当社代表:西尾 義隆

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センターと協力し、子ども一人ひとりの発達特性に応じて、それぞれの時期にふさわしい自発的、主体的な活動および遊びを援助する環境づくりの一つとして、保育・教育の実践に関する調査研究を行い、研修を通じて関わる人材の育成を推進するプロジェクト

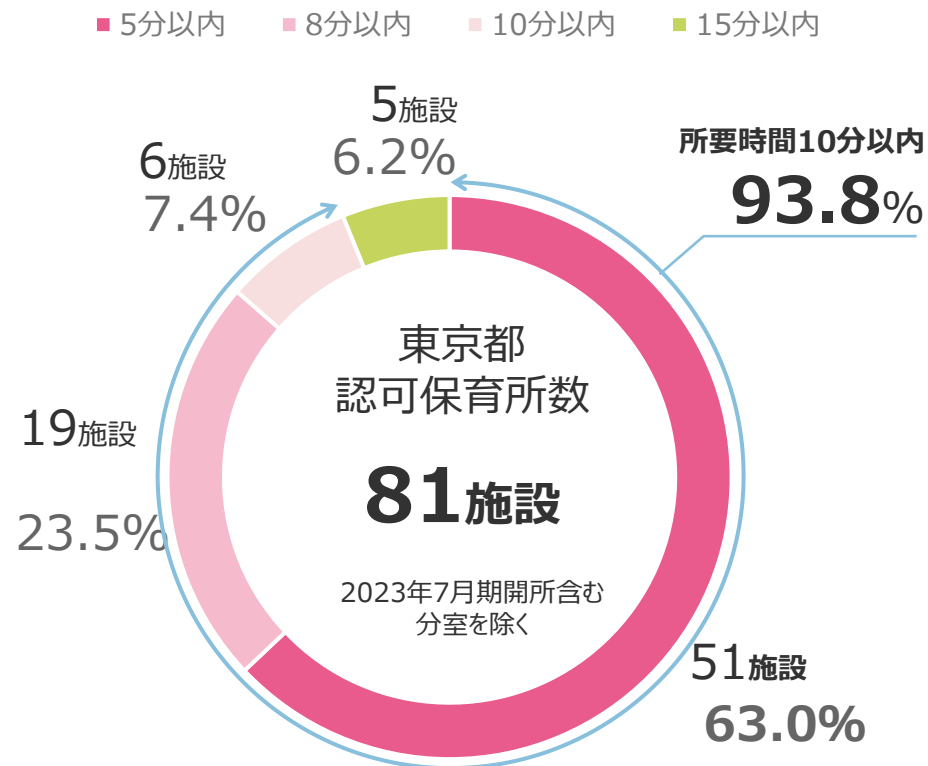
協力研究の進捗



- 不動産に関する豊富な知識を持つ「さくらさくパワーズ」での「情報力」「企画力」「開発力」を活かし保育所を軸にした不動産開発と不動産投資スキームを確立
- 保育所利用者のニーズ調査（厚生労働省）によると保育所の選択理由として「自宅からの通いやすさ」が最も多い 通勤の利便性も高いことから保育士の確保にも寄与



最寄り駅からの所要時間比率



前提条件 = 徒歩1分 = 80mとして10分圏内 = 約800m

- 当社グループの強みである不動産開発力により 利便性のよい地域での徹底的なドミナント戦略が可能

不動産開発力事例



子育て支援住宅の開発

さくらさくパワーズ

SAKURASAKU POWERS

2018年5月設立

第一弾・東京都港区西麻布プロジェクト

第二弾・東京都台東区浅草プロジェクト

東京子どもすくすく住宅認定制度



居住者の安全性、家事のしやすさなどに配慮された住宅で、子育てがしやすい環境づくりの取り組みを行っている優良な住宅を、東京都が認定する制度

概要・ポイント

- 2023年4月7日創設
- 従来の子育て支援住宅制度よりも、事業者のより幅広取り組みが対象
(キッズルームなどの共用部も助成対象に)
- 1戸に最大200万円を東京都が助成



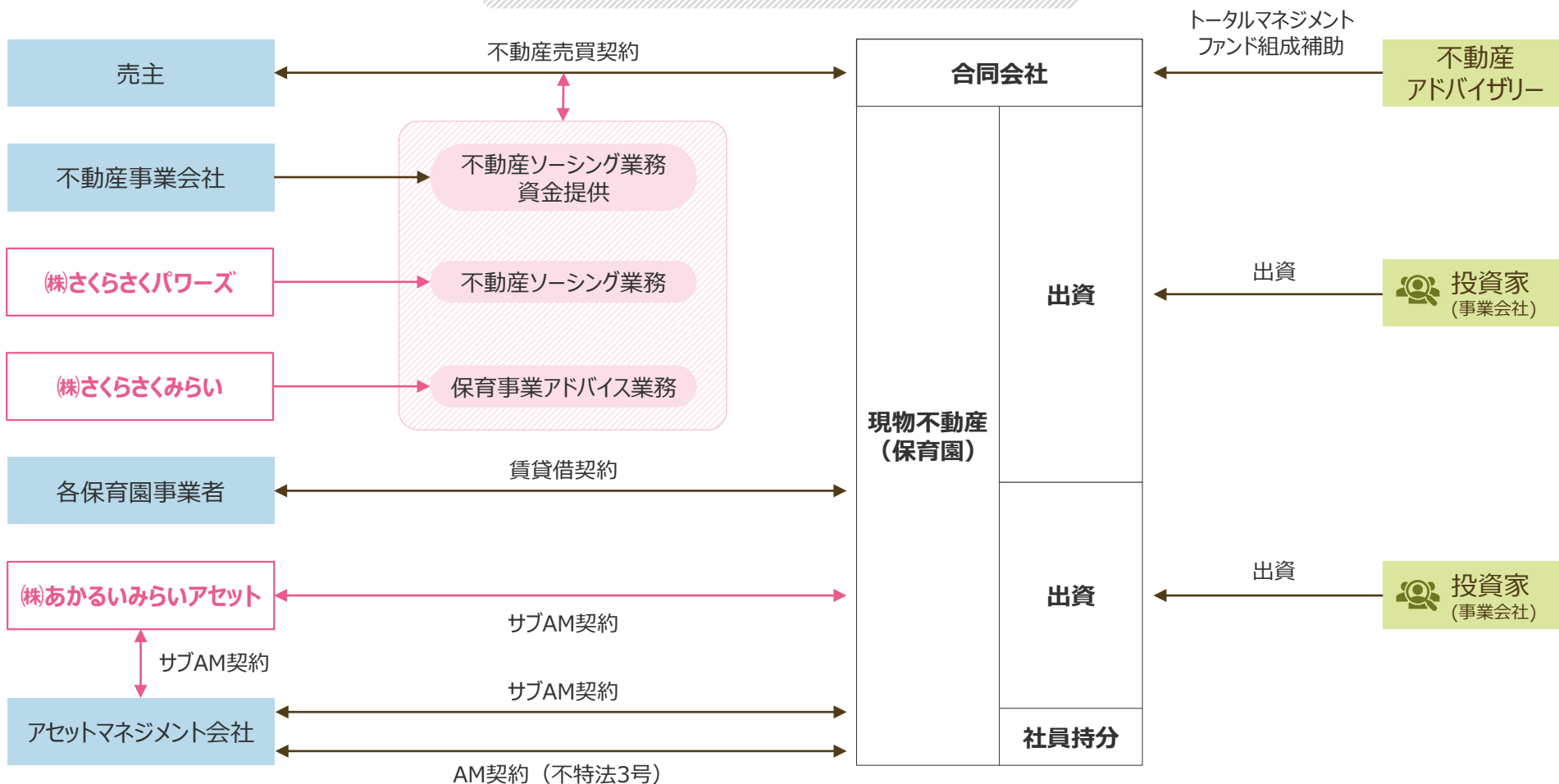
認定種別 認定番号	新築集合住宅 22S-0004
住宅名称	(仮称) 港区西麻布2丁目プロジェクト
構造・階数	RC造地上10階
住宅種別 認定戸数	賃貸18戸 (全住戸18戸) 58.26㎡、58.34㎡/戸
竣工予定	2024年5月 (予定)



認定種別 認定番号	新築集合住宅 22S-0007
住宅名称	(仮称) 台東区浅草5丁目プロジェクト
構造・階数	鉄筋コンクリート造地上8階
住宅種別 認定戸数	賃貸36戸 (全住戸36戸) 50.45㎡、51.49㎡/戸
竣工予定	2024年8月 (予定)

- 保育所は安定的なキャッシュフロー・社会課題の解決に対する貢献など新たな投資先として注目を集めている
- ファンド組成による式確保により、保育・子育てに適した物件の企画開発がさらに可能となる

ストラクチャーイメージ図



- 2020年5月に「保育園みらいファンド1号」を組成し、現在までに3号ファンドまで組成・運用開始
- 都心部を中心とした待機児童問題という社会的な課題解決に賛同いただき、2号ファンドは第一生命株式会社、ヒューリック株式会社、3号ファンドは株式会社かんぽ生命保険、芙蓉総合リース株式会社、四国電力株式会社からの出資で実施

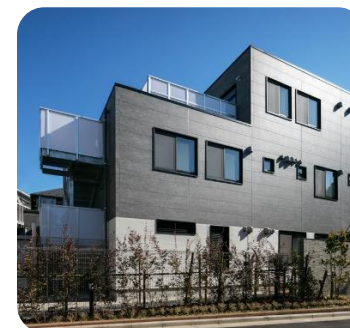
ファンド名称	保育園みらいファンド1号	保育園みらいファンド2号	保育園みらいファンド3号
物件数	6物件	15物件	15物件
対象エリア	東京都23区	東京都23区	東京都内
対象物件	認可保育所	認可保育所	認可保育所
園児定員	427名	1,011名	784名
資産規模	50億円超	100億円超	80億円超
設立	2020年5月	2021年3月	2022年3月

保育園みらいファンド2号 対象物件

さくらさくみらい東仲通り



さくらさくみらい西永福





さくらさくプラス



SAKURASAKU PLUS

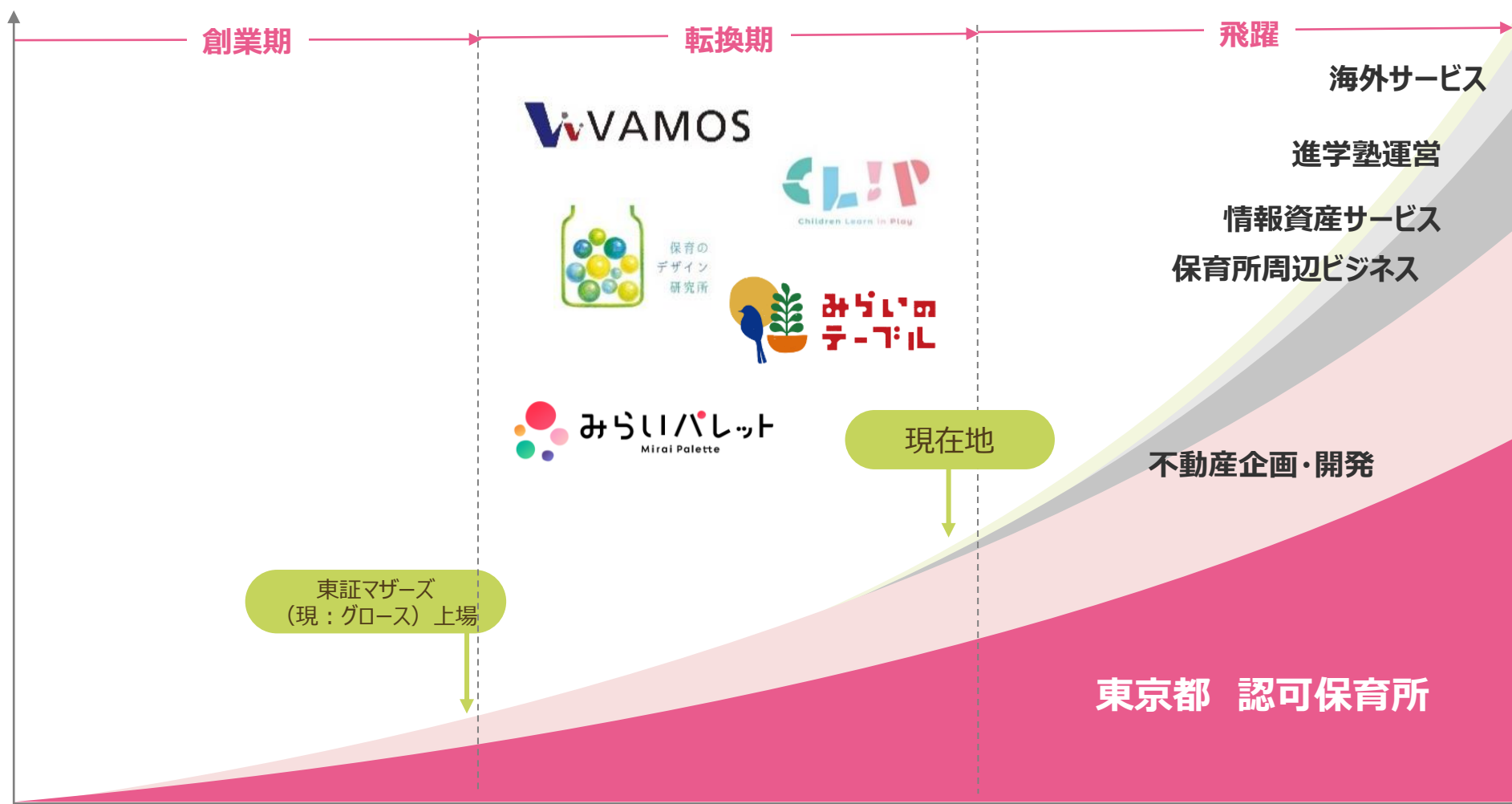
事業計画

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI



- 東京都で最も選ばれる保育所を目指し、保育クオリティの向上・合理化や業務効率化によるコスト削減を進める
- 子育て支援住宅の開発や情報資産サービス等、保育所周辺サービスにおいても成長に向け積極的に推進させる

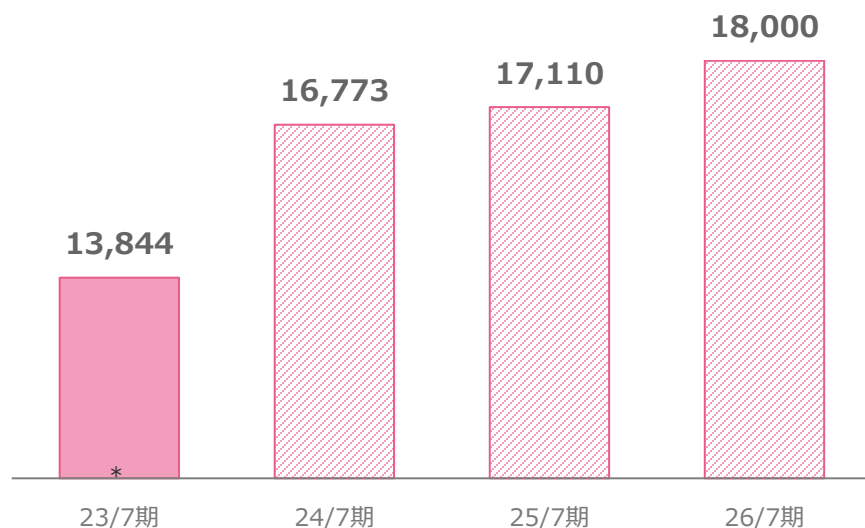


- 子育て支援住宅 西麻布プロジェクトの販売活動を開始
- 保育所サービスは量から質の向上へ転換 新規開設に伴う補助金収益は営業外収益として計上し指標としていたものの、質の向上期においては既存施設の稼働率や保育所周辺サービスを含めた売上ならびに営業利益を重視し毎期更新

(百万円)	2023年7月期 実績	2024年7月期 計画	計画比	2025年7月期 計画	前期比	2026年7月期 計画	前期比
			増減率		増減率		増減率
売上高	13,844	16,773	21.2%	17,110	2.0%	18,000	5.2%
営業利益	314	445	41.9%	730	63.7%	850	16.4%

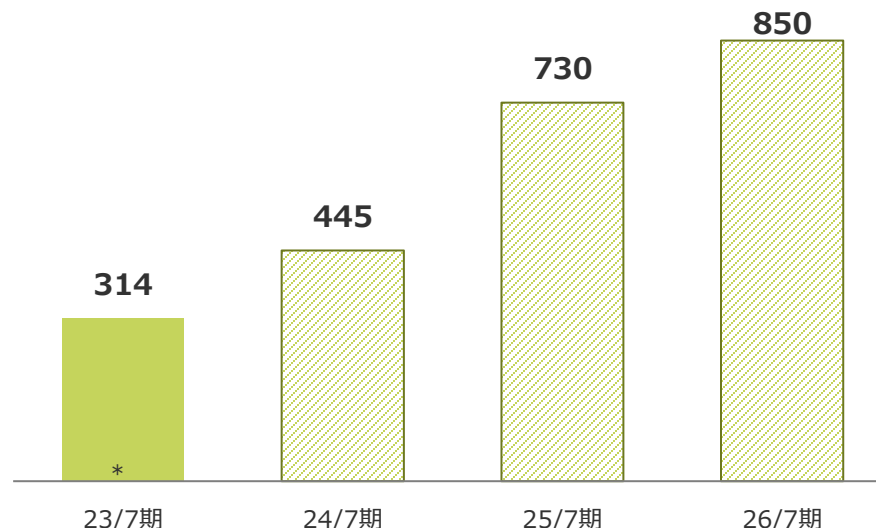
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2024年7月期 経営トピックス

2024年4月にパークタワー勝どき（中央区）へ保育所1施設を開設

晴海フラッグやパークタワー勝どきなど、開発が活発なエリアへの新規開設



運営保育所におけるICT活用の強化に向けた開発をスタート

みらいパレットが独自開発を進める、保育園利用時の必要情報を一元管理できるシステムと連携する形でBIPROGY株式会社の『mierun』を全園に導入し、子どもの日々の情報を「見える化」



子育て支援住宅 西麻布プロジェクト

子育て支援住宅西麻布プロジェクト販売活動を開始、子育て支援のコンテンツの更なる充実を図る

共同プロジェクト 月島エリアに進学塾「VAMOS」の新校舎と 子育て支援カフェ「みらいのテーブル」の新店舗をオープン

近年に人口の増加する中央区エリアで進学塾と子育て支援カフェを併設オープン



株主還元 3期連続増配予定

2024年7月期は年間配当金を1株当たり16円に増配

（中間8円配当予定、期末8円配当予定）

（2023年7月期は年間配当金は1株あたり12円（中間6円、期末6円予定））



月島エリアで進学塾とベーカリーカフェを共同プロジェクトで併設オープンし子育て家庭の利便性アップ



株式会社VAMOS



株式会社みんなのみらい

子育て家庭の受験を全力でサポート



VAMOS
6つのポイント

1. お子さまに寄り添う指導
2. 質の高い講義
3. 学力・個性に合わせたクラス編成
4. 仲間と共に高めあえる環境
5. 最新の受験事情の提供
6. 未来につながる授業

親子で楽しめるベーカリーカフェ



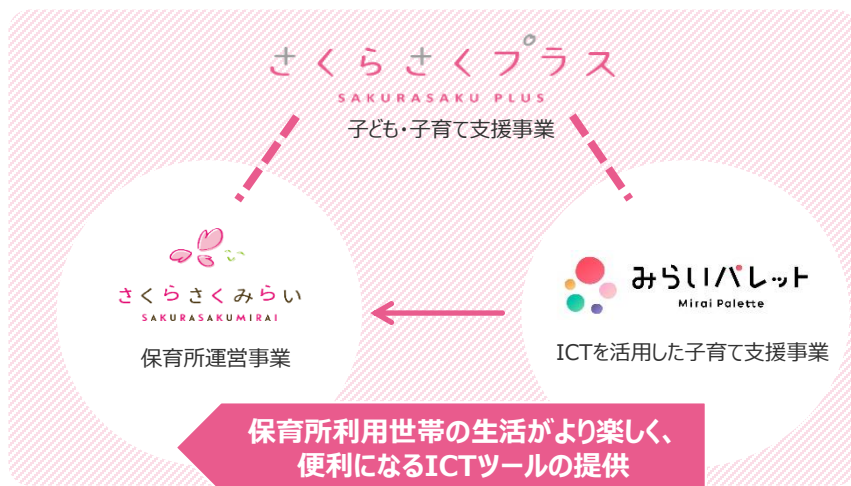
心と体の栄養と満足を叶えるパンと
親子共に心地よく過ごせる空間

- 美味しいパンの提供とワクワクする店内
>>> 子どもの「行きたい」
- オシャレな環境でゆったりと食事を楽しめる
>>> 大人の「行きたい」

- 保育所を起点としたコミュニアプリの開発
- 子育てのノウハウを共有し子どもたちも保護者も笑顔で過ごせるサービスを提供



テクノロジーと情報で子育て世帯をサポート

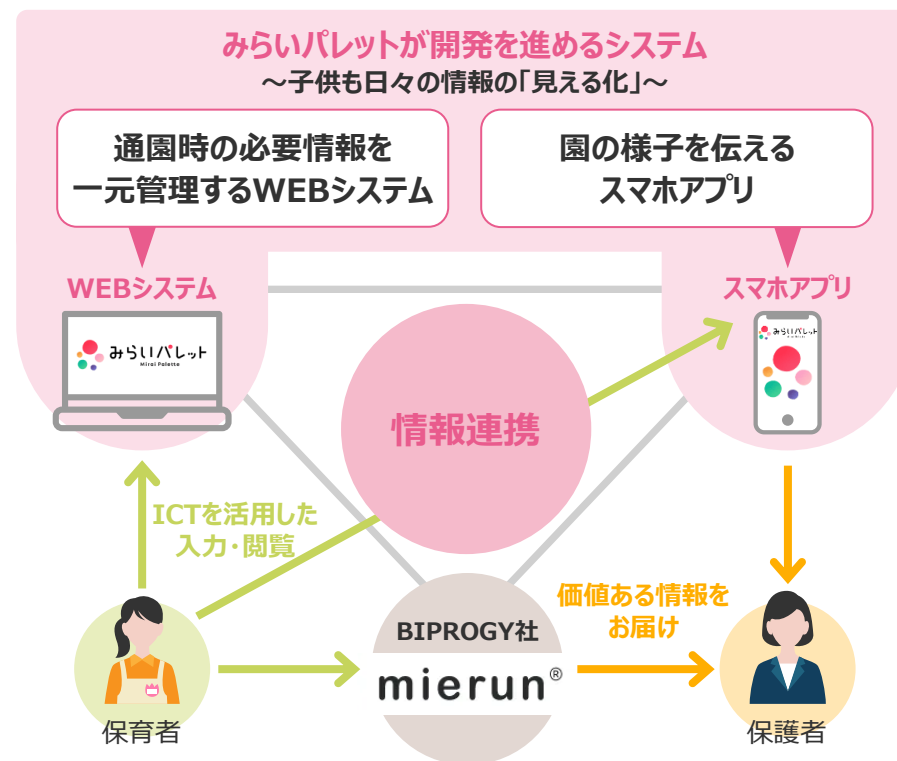


「園での日常をもっと知りたい」
…保護者の気持ちに寄り添うサービス

新サービスの取り組み

保育士・保護者の両者を「楽」にするICT 開発を強化

BIPROGY(株)※のコミュニケーションツール
『mierun』を2024年2月より導入



※BIPROGY株式会社… 東証プライム市場に上場のビジネスソリューションを提供する日本のITサービス企業。旧社名は日本ユニシス。

質の高い研修を提供し、日本全国の保育施設をより安心できる場所に

『株式会社保育のデザイン研究所』

保育運営法人や自治体に研修を提供
2023年4月3日に子会社化



保育のデザイン研究所の強み

- 様々な分野の専門家との強いネットワークを活かした質の高い研修
- 300講座以上のオンライン研修をサブスクにて提供し、タイムリーなテーマの講座を手軽に受講可能
- 新人教育からマネジメントまで最先端の情報を幅広く網羅
- 集合研修（対面）やライブ研修は年間200回以上開催の実績
- それぞれの保育施設の状況に応じ内容をカスタマイズ




日本全国の保育・幼児教育に携わる人へ
「最先端の学びの機会」をサブスクで
～全職員がいつでもどこでも何度でも導入しやすい
価格で約350の研修プログラム学び放題～

日本全国の保育・幼児教育に携わる人へ
「最先端の学びの機会」をサブスクで

～全職員がいつでもどこでも
導入しやすい価格で約350の研修プログラムが学び放題～



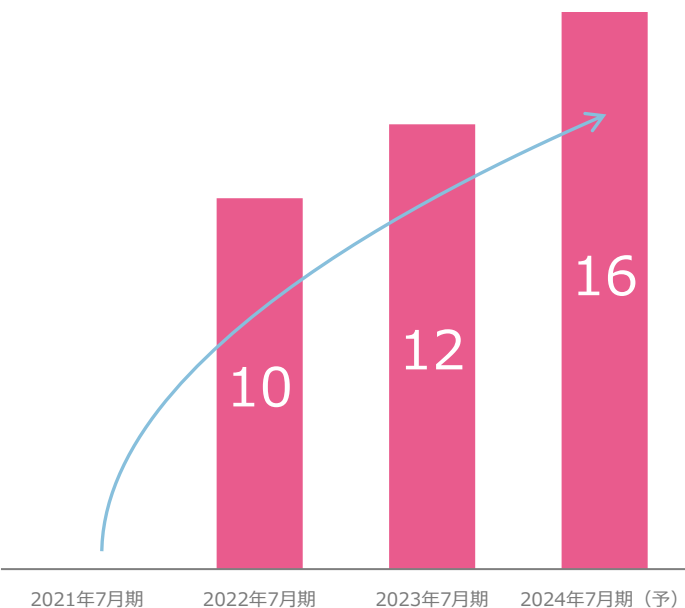
- 当社グループは今後も社会のインフラとして、地域や社会と子どもやその保護者をつなぐハブ（拠点）的な役割を担えるよう取り組んでまいります。

SDGs ターゲット	ディレクション	取り組み
<p>女性活躍推進</p> 	<p>安心できる認可保育所の供給による女性の社会進出への後押し</p> <p>ライフスタイルを重視した働き方</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 2023年4月には運営保育所が88園に拡大 - 2023年度 年間150回以上の研修制度（階層別 職種別） - 女性管理職率80%以上 - 当社サービス利用者数4,700人以上
<p>適切、安全かつ安価な基本的サービス</p> 	<p>安心して住み続けられる街づくりに貢献</p> <p>地域や社会と子どもやその保護者をつなぐハブ（拠点）的な役割</p> <p>子育て家庭の負担軽減</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 保育所の日常を伝える新しい写真販売サービス - 共同プロジェクトによるベーカリーカフェと進学塾の新規開設 - オンライン配信による行事 - こどもすくすく住宅の企画開発
<p>質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育</p> 	<p>認知能力の発達に繋がる乳幼児教育への取り組みプログラムの提供</p> <p>適切かつ質の高い初等教育及び中等教育の提供と貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 東京大学大学院、教育学研究科附属発達保育実践政策学センターと保育・教育の実践に関する協力研究 - 日本乳幼児教育学会大会登壇 - エビデンスに基づく乳幼児の睡眠環境の研究 - 大学研究チームと新たな乳幼児教育プログラムを構築 - ICT化による業務効率改善により保育の質アップ - 保育のデザイン研究所グループ化により保育研修サービスの提供 - はららくみらい相談室を設置し従業員の職場環境の充実

- 中長期で配当性向20%を目指す
- 2024年7月期は、前期12円（中間6円、期末6円）から当期16円（中間8円、期末8円）に増配を予定

配当推移

(円)



	2023年7月期	2024年7月期 (予)
年間配当金	12円	16円 (予定)
中間	6円	8円 (予定)
期末	6円	8円 (予定)
配当性向	16.6%程度	16.8%程度



さくらさくプラス



リスク情報

さくらさくみらい
SAKURASAKUMIRAI



- 成長の実現や事業計画の遂行に影響する主要なリスクを抜粋して記載
- その他リスクは、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください

リスク	リスク概要	顕在化の可能性	当社対応方針
人材育成及び育成に関するリスク	<p>今後、保育士・栄養士・看護師資格を有する優秀な人材の確保と育成が、保育施設の新設速度に追いつかない場合</p> <p>または、確保が必要となる人材の件費が増加し、当該増加に対して補助金等が十分に手当てがされない場合、業績に影響を及ぼす可能性があります。</p>	中長期/低	<p>開園計画には人材確保可能数についても見込んでおり、社会情勢に合わせ様々な採用チャネルを導入し、人材の確保に努めております。</p> <p>Webの有効活用により採用経費の圧縮に努めております。</p>
少子化の進行や待機児童の減少に関するリスク	<p>少子化の急速な進行や、想定外の事象による待機児童の減少に伴う市場の著しい縮小により、業績へ影響を及ぼす可能性があります。</p>	中長期/中	<p>地域のニーズと行政の認可園の開所計画を慎重に鑑みながら、弊社の開所計画を策定しております。</p> <p>子ども・子育て支援事業を単一セグメントとし、子育て家庭を包括的に支援することにより、少子化の影響を受けにくいグループ体制を整えております。</p>
保育所における事故発生に関するリスク	<p>何らかの原因により食の安全性に問題が発生し、またはその他の事故の発生により、所轄する自治体等からの事業停止命令及び訴訟の提起がなされた場合</p> <p>上記に伴う風評被害等による多数の利用者の減少により、業績に影響を及ぼす可能性があります。</p>	常時/低	<p>当社では安全管理を徹底しリスクを最小限にしています 食材管理ならびに衛生管理ともに、児童の安全管理にも十分に配慮しております。</p> <p>社内マニュアルを整備することにより、保育の質の水準を確保しております。また、内部監査室を設置し保育所の品質管理、安全確保に努めております。</p>

- ❖ 本資料は、当社の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の見通しについても言及しています。
- ❖ これらの将来の見通しに関する表明は、様々なリスクや不確実性が内在します。
- ❖ すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の見通しに関する情報に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- ❖ 次回の当資料のアップデートは、2024年10月末頃を目途に開示の予定をしております。

さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

